

千葉市美浜区の公道で実施される 自律走行バスの実証実験に協力

～車両が7基の信号情報を取得し、通過時の表示を予測して自動で走行または停止～

ソフトバンク株式会社の子会社であるSBドライブ株式会社（エスビードライブ、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：佐治 友基、以下「SBドライブ」）は、CPS（Cyber-Physical System）※およびIoTと「共創」をテーマとした日本最大規模の展示会「CEATEC 2019（シーテック）」に合わせて千葉市美浜区の公道で2019年10月15日から18日まで実施される、自律走行バスの実証実験（実施主体：CEATEC実施協議会）に協力することをお知らせします。

この実証実験では、SBドライブが提供するハンドルがない自律走行バス「NAVYA ARMA（ナビヤアルマ）」（仏Navya社製）が、「CEATEC 2019」の会場である幕張メッセを、「国際展示場」9～11ホール前のロータリーから出発して左回りに1周するルート（約1.5キロメートル）を走行します。SBドライブは、自動運転を前提に設計された「NAVYA ARMA」の公道での走行実証を目的に、2019年6月に車両の新規登録（ナンバーの取得）を行っており、今回「NAVYA ARMA」は、一般車両の進入を制限して専用空間にすることなく公道を走行します。また、この実証実験では、車両が合計7基の信号情報を取得し、各信号を通過する際に表示される色を予測することで、急制動を行わずに自動で走行または停止することが可能です。さらに、SBドライブが開発中の自律走行車両運行プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）」を使用して、遠隔地からダイヤに基づく走行を車両に指示するデモンストレーションや運行管理を実施します。「NAVYAARMA」が信号と連携したり、遠隔地から指示を受けて走行したりするのは、日本で初めてです。

SBドライブは、この実証実験において「NAVYA ARMA」を提供する他、道路のデータ収集やルート設定などの技術面における走行準備や、関係者との調整などを行います。また、運転手と、車両に同乗して運転手を補助する保安要員を、訓練を受けたSBドライブの社員が務め、緊急時は手動運転に切り替える他、不測の事態に備えるなどの十分な安全措置を取ります。

実証実験の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

※ 現実世界における膨大なデータをサイバー空間で分析し、産業の活性化や社会問題の解決に活用していくシステム

■ 「NAVYA ARMA」 の走行イメージ



- Dispatcher は、SB ドライブ株式会社の商標です。(商標登録出願中)
- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。